

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

閉塞性黄疸に対する経皮経肝胆道ドレナージと経皮経肝胆嚢ドレナージの比較

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年1月1日から2024年3月31日に昭和大学藤が丘病院・ひたち医療センターで閉塞性黄疸に対して経皮経肝胆道ドレナージ（PTBD）または経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

閉塞性黄疸の治療において内視鏡が困難なケースではPTBDが行われています。しかし、胆管が細い場合にPTBDは容易ではありません。その様な場合に原因によってはPTGBDが有用であることが報告されています。しかし、PTBDとPTGBDを直接比較した研究はありません。今回、閉塞性黄疸に対するPTBDとPTGBDの比較を行うことを目的とし、カルテから情報を収集し検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 3月 31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、診断名、転帰、既往歴・併存疾患、内服歴、内視鏡治療困難な理由、体温、血圧、血液検査所見、PTBD・PTGBD所見

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレターパックプラス（赤）を用いて、昭和大学藤が丘病院に郵送します。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学藤が丘病院 氏名 浅見哲史

既存試料・情報の提供のみを行う機関

機関名 ひたち医療センター 機関の長の氏名 加藤貴史

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院消化器内科 氏名：浅見哲史

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-967-0349